

学校コード F117310105497

注1

変更年度 令和 4年度

計画の区分： 大学の収容定員に係る学則変更

注2

金沢学院大学 経済学部 経営学科

(必要がある場合) ○○専攻

認可

収容定員に係る学則変更を行った大学の履行状況報告書

学校法人金沢学院大学

令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部
職名・氏名	キカクフサンジ イシカフ アツシ 企画部参事 石川 温
電話番号	076-229-8892
（夜間）	076-229-8892
e-mail	kikaku@kanazawa-gu. ac. jp

- (注) 1 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 2 認可時から大学の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、旧名称を記載してください。
例) ○○大学（旧名称：◇◇大学（平成◇◇年度より名称変更））

目次

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
①経済学部経営学科	
2. 既設大学等の状況	5
3. 附帯事項等に対する履行状況等	7

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人金沢学院大学

(2) 大学名

金沢学院大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒920-1392

石川県金沢市末町10の5番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	変更時	変更状況	備考
理事長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成29年1月)		
学長	(アキヤマ ミノル) 秋山 稔 (平成25年4月)		
学部長	(トヨダ キンゴ) 豊田 欣吾 (令和4年4月)		
学科長等	(オオノ タカヒロ) 大野 尚弘 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)
令和5年度に報告する内容 → (5)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。
・対象学部等が複数の場合には、それぞれ記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画										定員変更年度	学生募集の停止について	備考				
	修業年限	入学定員		編入学定員		収容定員		入学定員		編入学定員							
		変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前	変更後	変更前				変更後			
経済学部 経営学科 学士(経営学)	4年	60人	70人	2年次 0人	2年次 0人	3年次 5人	3年次 5人	250人	290人	令和4年度	—						
区分	対象年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期					
A	入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	70 (5)	70 (5)	1.28倍	一倍	1.24倍	一倍		
	志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	332 (1)	251 (2)						
	受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	322 (1)	246 (2)						
	合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	242 (1)	208 (2)						
B	入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	96 (1)	84 (2)						
	入学定員超過率 B/A									1.37	1.2						

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、平成30年度定員変更の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 認可後さらに定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。)
 - ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 調査対象学部等の定員変更年度から報告年度まで記入してください。なお、定員変更年度以前は「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・ 「収容定員充足率」には、変更年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

2 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 学 院 大 学										0	2	0	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
文学部	4	180	年次 人 3年次 8	736	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<u>文学科</u>	4	180	3年次 8	736	学士 (文学)	0.96	-	0.94	-	令和3	平成27	石川県金沢市末町10の5番地	令和3年度より入学定員変更(150→180)	
<u>日本文学専攻</u>	4	60	〈便宜上〉 4	248		1.04	-	1.00	-	令和3	平成27		令和3年度より入学定員変更(50→60)	
<u>英米文学専攻</u>	4	30		120		0.45	-	0.46	-		平成27			
<u>歴史学専攻</u>	4	50	〈便宜上〉 4	208		1.08	-	1.05	-	令和3	平成27		令和3年度より入学定員変更(40→50)	
<u>心理学専攻</u>	4	40		160		1.16	-	1.15	-	令和3	平成27		令和3年度より入学定員変更(30→40)	
<u>教育学科</u>	4	-	-	-	学士 (教育学)	-	-	-	-	-	平成30	同上	令和4年度より学生募集停止	
教育学部	4	70	3年次 5	290		-	-	-	-	-	令和4			
<u>教育学科</u>	4	70	3年次 5	290	学士 (教育学)	0.97	-	0.97	-	-	令和4	同上		
経営情報学部	4	-	-	-		-	-	-	-	-	-			
<u>経営システム学科</u>	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	-	-	-	平成18	同上	平成28年度より学生募集停止	
<u>経営情報学科</u>	4	-	-	-	学士 (経営学)	-	-	-	-	-	平成28	同上	令和2年度より学生募集停止	
経済学部	4	180	3年次 10	740		1.15	-	1.11	-	令和4	令和2		令和4年度より入学定員変更(140→180)	
<u>経済学科</u>	4	110	3年次 5	450	学士 (経済学)	1.06	-	1.07	-	令和4	令和2	同上	令和4年度より入学定員変更(80→110)	
<u>経営学科</u>	4	70	3年次 5	290	学士 (経営学)	1.28	-	1.22	-	令和4	令和2	同上	令和4年度より入学定員変更(60→70)	
経済情報学部	4	70	-	280		-	-	-	-	-	令和2			
<u>経済情報学科</u>	4	70	-	280	学士 (経済情報学)	1.01	-	0.99	-	-	令和2	同上		
芸術学部	4	80	3年次 7	334		-	-	-	-	-	令和5	平成28		
<u>芸術学科</u>	4	80	3年次 7	334	学士 (芸術学)	0.88	-	0.88	-	令和5	平成28	同上	入学定員変更(70→80、編入学2→7)	
人間健康学部	4	-	-	-		-	-	-	-	-	-			
<u>スポーツ健康学科</u>	4	-	-	-	学士 (スポーツ健康学)	-	-	-	-	-	平成23	同上	令和3年度より学生募集停止	
<u>健康栄養学科</u>	4	-	-	-	学士 (栄養学)	-	-	-	-	-	平成28	同上	令和3年度より学生募集停止	
スポーツ科学部	4	150	3年次 10	620		-	-	-	-	-	令和3	令和3		
<u>スポーツ科学科</u>	4	150	3年次 10	620	学士 (スポーツ科学)	1.12	-	1.08	-	令和3	令和3	同上		
栄養学部	4	80	3年次 5	330		-	-	-	-	-	令和3			
<u>栄養学科</u>	4	80	3年次 5	330	学士 (栄養学)	1.11	-	1.03	-	-	令和3	同上		
大学全体	-	810	45	3330	-	-	-	-	-	-	-	-		

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
（様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部・学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

3 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和3年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、原因分析や改善策 が十分ではないため、 教育研究水準の維持向 上等に配慮した安定的 な教員組織の編成のた め、詳細な原因分析及 びより効果的な改善策 について検討する こと。(経済学部経済 学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 専任教員の辞任は、健康的な問題や 学内での異動によるものを中心と なっている。これらの理由以外の辞 任者については、北陸や石川県での 勤務にこだわりがない、前任教での 勤務も短い等の特徴がある。具体的 には、他大学への転任、家族の介護 など一身上の都合であり、留意する ことは難しくやむを得ない理由と考 えている。退職した教員の専門分野 を担当できる教員については、長期 的に増員を予定しており、慎重に選 考を行っている。(5)	履行中 学位取得者、実務経験者といった幅 広い人材を公募しているところであ り、令和5年度4月には2名の教員を 採用した。今後は、北陸や石川県で の勤務に積極的であるという観点か ら、新任教員の選考に臨むことと する。(5)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	入学者選抜の適切な実 施等を通じ、入学定員 超過の改善に努めるこ と。(経済学部経営学 科)	【AC】 指摘事項 (改善) 令和4年度は新型コロナ落ち着き始 めたことから入学志願者が増加して おり、学生一人当たりの受験校数も 増え、歩留まり率も前年度より減少 するとの予測であったが、結果とし て96人<1.37>の学生を受け入れる こととなった。令和5年度は新型コ ロナの終息を見据え、これまで県内 の大学に留まっていた受験者が都市 圏へ流れ減少していることから、合 格者の歩留まり率も下がるとの予測 であったが、昨年より若干の上昇が あり84人<1.20>と定員を超える入 学者となった。(5)	履行中 令和6年度以降の学生募集では、長 く続いた新型コロナに起因する歩留 まり予測のブレを修正するため、 オープンキャンパス等で実施してい る入学アンケートの分析を進め、定 員管理に努めたい。
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、原因分析や改善策 が十分ではないため、 教育研究水準の維持向 上等に配慮した安定的 な教員組織の編成のた め、詳細な原因分析及 びより効果的な改善策 について検討するこ と。(経済情報学部経 済情報学科)	【AC】 指摘事項 (改善) 専任教員の辞任は、健康的な問題や 学内での異動によるものを中心と なっている。これらの理由以外の辞 任者については、北陸や石川県での 勤務にこだわりがない、前任教での 勤務も短い等の特徴がある。具体的 には、他大学への転任、家族の介護 など一身上の都合であり、留意する ことは難しくやむを得ない理由と考 えている。退職した教員の専門分野 を担当できる教員については、長期 的に増員を予定しており、慎重に選 考を行っている。(5)	履行中 学位取得者、実務経験者といった幅 広い人材を公募しているところであ り、令和5年度4月には2名の教員を 採用した。今後は、北陸や石川県で の勤務に積極的であるという観点か ら、新任教員の選考に臨むことと する。(5)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時に付された附帯事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ **【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】**
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4) (5)」と記載してください。
 - ・ **【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。